

## 目標達成計画

作成日：平成 22年 2月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所に隣接する公園に訪れる地域住民と交流を図っているが、立地条件等の課題もあり、積極的な交流を行うまでは至っていない。	地域住民との交流を積極的にもつ手がかりとして、まず近隣の幼稚園の子供たちとの交流をもつ。	1.近隣のM幼稚園との定期的な交流を図るよう に幼稚園の担当者との調整を行う。 2.交流内容として、園児たちがお遊戯を披露する という形式から交流を始める。	3ヶ月
2	33	ホームの方針として「終末ケア」を掲げており、入居者ご本人やご家族には入居時には説明を行っているが、具体的な「看取りに関する方針」等、文書化したものはなく、また重度化や看取りに対応するための職員の内部研修等についても行われてはいない。	1.ムーミンの森における「看取りに関する方針」を作成する。 2.看取りに関する内部研修を開催する。	1.各種文献、資料をもとに「看取りに関する方針」を作成する。また、他のホームで実際に行っていることを参考にする。 2.「看取りに関する方針」が完成してから間をおく事無く、重度化や見取りに関する内部研修を開催し、それらに対する理解を深める。	6ヶ月
3	35	災害対策については地域との協力体制が築かれておらず、水・食糧等の備蓄についても行われていない。	1.地域の消防団の方々に協力を得られるような関係作りを行う。 2.一週間分の水・食糧等の備蓄を行う。	1.運営推進会議に地域の消防団の方に参加して頂き、ホームの理解を深めていただけるよう取り組む。 2.一週間分の水・レトルト食品や缶詰等をホームの倉庫に備蓄する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。